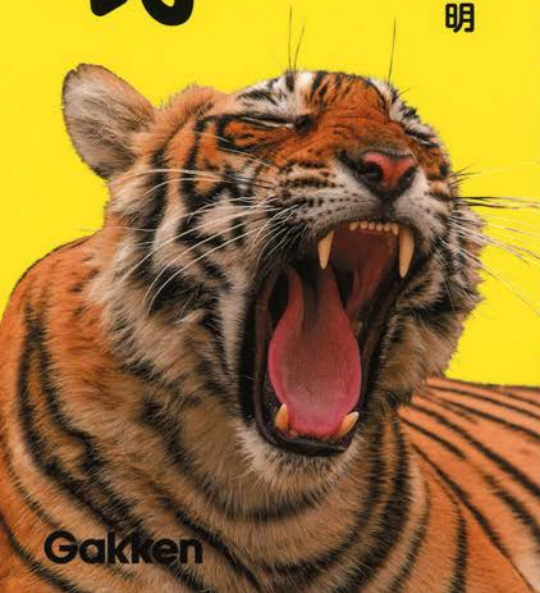
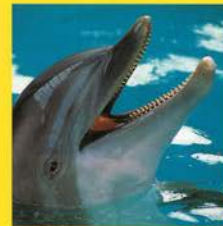


くちばしと どうぶつの は

教科書にでてくる生きものをくらべよう！

監修 今泉忠明



鳥のくちばしは、いろいろな形かたちをしています。

とがったくちばし、

ひらたいくちばし、

太ふといくちばしなど、

食べるものやかりのしかたに

よって形かたちがちがいます。

くちばしの形かたちと

そのやくわりをくらべて

みましょう。

きつつきのくちばしは、
先さきがとがっています。

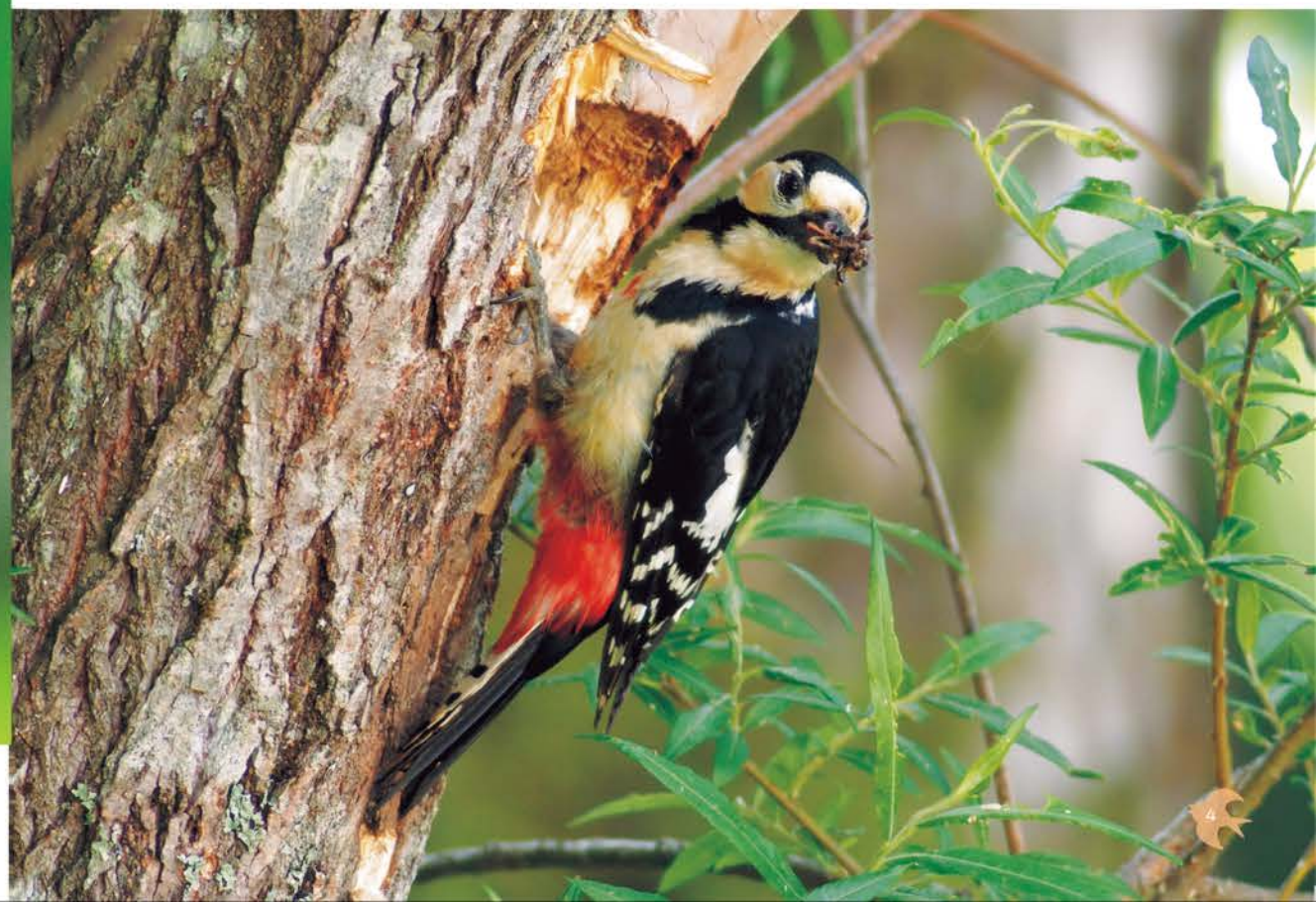





また、木の みきに 大きな あなを
ほる ことも できます。
その あなの 中で
ひなを そだてるのです。



きつつきは とがった
くちばしで、木の みきや
えだを つつきます。
そして、
木の 中に いる
虫を とって 食べます。



 この きつつきは、あかげらです。あかげらは 毎年、新しい あなを 木に ほります。つぎの 年には
ほかの 小鳥や りす、ももんがなどが、その あなを すみかに する ことも あります。



つばめのくちばしは、みじかくてひらたい
形かたちをしていす。
つばめは、その口くちを大きくあけることができます。



ものしり
メモ つばめは、人の家ののき下などに
すをつくり、ひなをそだてます。
ひなにえさをやるために、
1日に500ぴきもの虫むしを
つかまえることもあります。

つばめは、とびながら
小さな虫むしを
つかまえます。
そのときに、
大きくひらいた口くちで
虫むしをとらえます。





おうむは、
この丸く まがった
くちばしで、
木の みを じょうずに
つまみます。
そして、
太い くちばしに
力を こめて、
木の みの かたい
からを わって
なかみを 食べます。



おうむの くちばしは、
太くて 先が 丸く まがって います。





はちどりのくちばしは、
 細長くて前にのびて
 います。
 はちどりは、とびながら
 くちばしを
 花の中にさしこみます。

そして、

くちばしの中に
 しまっていた
 長いしたをのばして
 花のみつをなめます。



ものしりメモ はちどりは、大きいしゅるいでも
 おとなの人の手くらいの小さな鳥です。
 このしゃしんは、まめはちどりと
 いうせかいでいちばん小さな鳥です。





はしびろこうは、
大きな魚を
つかまえて 食べます。
じっと うごかず、
魚が 水めに
来るのを まちぶせて、
大きな くちばしで
いっきに つかまえます。
はしびろこうの 上の
くちばしの 先は、
かぎばりのように
まがって いるので、
魚を 引っかけるのに
やくだちます。



はしびろこうの くちばしは、とても
太くて 大きいです。

ペンギンは、くちばしを つかって
水の中みなで 魚さかなをつかまえます。
そして、ぎざぎざの したで
魚さかなを にかさないように、
口くちのおくちには こだわります。



ペンギンの くちばしは、
太ふとくて しっかりして います。

口くちの中なかには、ぎざぎざした
したが かくれて います。



どうして？

へんなくちばし

おじぎを して
しよくじする

フラミンゴ



フラミンゴの
くちばしの うちがわには、
ぎざぎざが あります。
おじぎを するやうに
くちばしを
水の中
に入れて、
ぎざぎざに
引っかかった
小さな 生きものを
食べます。



大きな
くちばしで
なんでも
できる

おおはし

おおはしの くちばしは、
とても かるくて じょうぶです。
木の みを もぎとる、かたい みを
くたく、つまんで 食べるなど、
みんな この くちばしで
できるのです。



はしのように
魚を はさむ

かわせみ



かわせみは、空中から
川にとびこんで、
かりを します。
まつすべな くちばしで、
およいで いる 魚を
いっしゅんの うちに
はさんで
つかまえます。

ひらべったくて
ブラシが ある

はしびろかも



はしびろがもの ひらたい
くちばしには、ブラシのよう
ものが ならんで います。
くちばしを 水の中
で ぼくぼくさせて、ブラシに
かかった 小さな
生きものを 食べるのです。

くちばしの まわりに
ひげが いっぱい

よたか



よたかの くちばしは
ひらたくて、まわりには
長いひげが はえて います。
大きく 口をあけたまま
夜の 森を とび、
ひげに
ふれた
虫を
食べます。



23 ペンガルトラ

[体長: 200cm くらい] インドなどに すむ。森や 草むらなどで、ふだんは 1頭で かりを して くらす。



21 ヨタカ

[体長: 29cm くらい] アジアなどの 森に すむ。夜に キョキョキョと 鳴きながら とんで、虫を とる。



21 ハシビロガモ

[体長: 45cm くらい] 冬に 日本に 来る わたり鳥。水に 首を 入れて、まわりながら 小さな 生きものを とる。



6 ツバメ

[体長: 17cm くらい] やねの 下などに すをつくり、子そだてを する。春に 南の国から 来て、秋に 帰る。



3 アカゲラ

[体長: 22cm くらい] 日本、アジア、ヨーロッパなどの 森に すむ キツツキ。おなかの 赤い 色が きれい。



この 本に できてきた 生きもの ずかん



30 カバ

[体長: 4m くらい] アフリカの 川や みずうみに むれで くらす。昼間は 水の中に いて、夜に りくで 草を 食べる。



28 アイランドホース

[体長: 140cm くらい (せなかの高さ)] アイランドで ポニーから つくられた 馬。小さいけれど、じょうぶで 長生き。



26 キンイロジリス

[体長: 26cm くらい] 北アメリカの 山に すむ。トンネルのような すあなを ほり、食べものを ためる。



12 オオワシ

[体長: 90cm くらい] 冬に なるど、ロシアから 北海道に やつて くる。日本の ワシの なかまでは いちばん 大きい。



10 ハイバラエメラルドハチドリ

[体長: 11cm くらい] メキシコなどに すむ。目に 見えないほどの はやさで 羽を うごかし、空中に とまれる。



8 キバタン

[体長: 50cm くらい] オーストラリアなどに すむ 大きな オウム。黄色い かんむり羽が きれい。人なつこい。



36 エボシカメレオン

[体長: 50cm くらい] 左右の 目が べつべつに うごく。体の 色を かえる ことができる。



34 バンドウイルカ (ハンドウイルカ)

[体長: 3m くらい] あたたかい 海に すむ。むれで くらし、船と ならんで およぐ ことがある。



32 アフリカゾウ

[体長: 7m くらい] アフリカに すむ。りくで くらす 生きものでは もっとも 大きい。草や 木、くだものを 食べる。



18 フンボルトペンギン

[体長: 70cm くらい] 南アメリカの 西の 海がんに すみ、魚を とって 食べる。あなを ほって すをつくる。



16 ハシビロコウ

[体長: 120cm くらい] アフリカの ぬま地に すむ。昼間は 草に かくれ、夕方に かりを して 魚を とる。



14 モモイロペリカン

[体長: 148 ~ 175cm] アフリカなどに すむ。ぬまや 広い 川で むれに なり、きょうかして 魚の かりを する。



37 オニイトマキエイ

[体長: 4m くらい] 南の 海の あさい ところを ゆっくり およぐ。マンタとも よばれ、人気がある。



37 イリエワニ

[体長: 3 ~ 7m] 東南アジアなどに すむ、もっとも 大きい ワニ。人よりも 大きく、人をおそう こともある。



36 カモノハシ

[体長: 30 ~ 40cm] オーストラリアなどに すむ。ゆびにある まくと ひらたい おで じょうずに およぐ。



21 カワセミ

[体長: 16cm くらい] 日本や アジアの 水べに すんで いて、小魚を とる。せなかは 青みどり色で ほう石のよう。



20 オニオオハシ

[体長: 80cm くらい] ブラジルなどに すむ。木の あなで、おすと めすが いっしょに 子どもを そだてる。



20 ベニイロフラミンゴ

[体長: 120cm くらい] 南アメリカなどに すむ。ひがたや あさい みずうみに、むれで すむ。かたあしで 立ったまま ねむれる。